

2027年度 研究プロジェクト募集

イノベーション・マネジメント研究センターは、産学官の連携をはかり、イノベーションに関する学術交流と研究を促進し、それらの研究成果を公表することを目的としています。内外のイノベーションに関する図書資料の収集・提供を行うとともに、収集した図書資料の活用、研究プロジェクトの設置や研究成果の公表支援を通じ、調査・研究の向上に寄与しています。特に、所員を研究代表者として共同研究を行う「研究プロジェクト」制を取り入れ、2026年度は23件の活動を行っています。今年度も2028年度科学研究費補助金をはじめとする外部資金獲得の研究基盤を整備するため、前年度に続き以下のとおり研究プロジェクトを新規に募集いたします。

1. 「研究プロジェクト」募集要項

(1) 対象

当研究センターの「研究プロジェクト」として、2027年度より3～4年程度、イノベーションに関する研究に従事していただける方（2027年度に代表者として研究プロジェクトを継続されている方は対象外）。法政大学専任教員が代表者となり、本プロジェクトの申請をもって、代表者には当研究センターの所員となつていただきます。なおプロジェクトの申請は、学内外の方との共同研究、また代表者単独の研究でも可能です。

(2) 助成内容

今回の新規募集に際し、研究初年度となる2027年度に限り、外部資金を獲得していない研究課題に対して、研究プロジェクト1件当たり20万円まで研究資金を助成します。なお、予算執行方法は本学の規程に沿って支出していただきますので、予めご了承ください。

(3) 募集件数

5件程度（応募多数の場合は、助成金額を減額する場合があります）。
趣意書、計画書、報告書に基づき、運営委員会で審議を行います。なお、過年度の研究プロジェクトにおいて、当センターへの貢献（ワーキングペーパーの発行、学術雑誌への寄稿、叢書への応募、セミナー等の開催等）または研究プロジェクトに係る成果がなかった場合、採否に関わることがあります。

(4) 申請方法

所定用紙に必要事項をご記入の上、E-mailでご提出ください。所定用紙は、当研究センターHPよりダウンロードしてください。

■所定用紙： ・研究プロジェクト趣意書（様式①） ・研究計画書（様式②） ・研究報告書（様式③）

※「研究報告書（様式③）」には、過年度の「研究プロジェクト」における研究報告（『イノベーション・マネジメント』およびワーキングペーパーへの寄稿、叢書の刊行、当研究センター主催のシンポジウムや公開講座の開催等）をご記入ください。

※初めて応募される方は「様式③研究報告書」の提出は不要です。

■所定用紙掲載先：イノベーション・マネジメント研究センターHP「研究」→「研究プロジェクト」
（<https://riim.ws.hosei.ac.jp/research/project.html>）

■提出先：イノベーション・マネジメント研究センター（E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp）

(5) 締 切 日 **2026年8月31日（月）＜必着＞**

2. 所員の条件

「イノベーション(innovation)、情報(information)、産業(industry)に係わる研究に真摯に取り組んでいる研究者をはじめとする教員。具体的には過去5年間に1冊以上の学術研究書または2本以上の学術論文を有するもの、または実務において顕著な知識を有していると認められるもの」となります。

また、継続研究課題がある場合を除き、2028年度の科学研究費助成事業(科研費)への応募が必須となります。(代表、分担のどちらでも可、採択結果は問いません)。

さらに、当研究センター発行の学術雑誌『イノベーション・マネジメント』への投稿論文の査読審査、所員による研究会の開催にご協力をいただくことがあります。

3. 所員への研究支援

(1) 英文校閲料の一部補助

(当センターが発行しているワーキングペーパーもしくは学術雑誌「イノベーション・マネジメント」へ寄稿する場合、上限税込15万円)

(2) 研究所会議室4及び研究所会議室5の優先使用(一般教員による予約確定は2週間前)

(3) ワーキングペーパーの発行

(原稿料なし。当研究センターホームページ上でのPDFによる電子化公開が原則)

(4) 当研究センターが発行する『イノベーション・マネジメント』への寄稿

(毎年3月発行。上限範囲内で、原稿料・現物支給あり)

(5) 研究成果の出版補助(年間2件、1件100万円)。『法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書』として刊行。

(6) 公開によるシンポジウムやセミナー、講演会開催の告知・会場設営・受付等、実施運営のサポート。

(7) 学内外の研究助成の情報提供

2026年度研究プロジェクト(23件)

| プロジェクト名称 | 代表者 |
|--|--------|
| 産業クラスターの知的高度化とグローバリゼーション | 洞口 治夫 |
| 自動車部品物流研究会 | 李 瑞雪 |
| サステナビリティにおけるインターナルコミュニケーション(社内浸透) | 北田 皓嗣 |
| 障害者の福祉的就労に関する日本・東南アジアの比較研究 | 佐野 竜平 |
| 起業家教育プログラムの多面的効果測定法 | 田路 則子 |
| クラウドソーシング研究会 | 西川 英彦 |
| スポーツ・ライフ・インテグレーション研究会 | 荒井 弘和 |
| 情報ネットワークの利用とインタラクション | 橋爪 絢子 |
| テリトリー研究会 | 木村 純子 |
| トップマネジメントのキャリアパスの日米比較研究 | 金 容度 |
| オプション市場の情報をういたファイナンスの計量分析 | 山崎 輝 |
| 医療 DX 研究会 | 近能 善範 |
| 大規模データを用いた金融市場の分析 | 高橋 慎 |
| ソーシャル・イノベーション研究会 | 土肥 将敦 |
| 消費者行動視点のマーケティング研究会 | 新倉 貴士 |
| 総合鉄道史研究の創出と推進 | 二階堂 行宣 |
| 在日韓国・朝鮮人企業研究のオーラルヒストリの可能性 —飲食店、食品製造販売業、製造業、リサイクルビジネスの多業種インタビューにもとづいて— | 韓 載香 |
| 小売業の人事管理と労使関係に関する研究 | 佐野 嘉秀 |
| 企業家史研究会 | 長谷川 直哉 |
| ファンエンゲージメントがシビックエンゲージメントに及ぼす影響: ウェルビーイングの媒介効果の検証 | 吉田 政幸 |
| 新製品開発における多様性訴求のコミュニケーション効果 | 岡田 庄生 |
| 上場企業における最適開示の探求 | 中野 貴之 |
| 知覚制御理論に基づく心理社会プログラムの開発と社会実装 | 金築 優 |

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1



TEL: 03(3264)9421 FAX: 03(3264)4690

URL: <https://riim.ws.hosei.ac.jp>

E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp